

市民と議会を結ぶ架け橋

No.67

令和3年
11月発行

上野原市 議会だより

9月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
子育てサロン

特集	うえのはらで頑張る人	2
	定例会で決まった主なこと	4
	補正予算	6
	議決結果等一覧表	7
	会期中の審査	8
	一般質問	9
	決算特別委員会	14
	閉会中の委員会活動	18
	市民の声	20

まん延防止等重点措置解除後に、二つのサロンに写真取材をすることができました。



うえのはらで頑張る人 Vol.20 子育てサロン



昨年からのコロナ禍、8月から9月にかけて「まん延防止等重点措置」の対象地域となり、市内の子育てサロンでは開催を中止せざるを得なくなりました。今号では従来の取材ができず、アンケートによる取材をしました。

子育て中の親子が
安心して集える場所を！

どんな過ごし方

■ 『交流サロンあそびにおいでよー！』

お母さんやスタッフが見守る中、各自で好きな玩具を見つけ遊びます。お母さん同士が話をしたりする姿も見られます。今年3月、「子育てサロンきらきら」と命名し、0歳児からお年寄りまでの交流サロンにリニューアルしました。



■ 『たまひよDX』

始めに近況報告や親子遊びなどを行い、その後、親は相談や話したいことを話し、子どもは好きな遊びをしています。ボランティアの帝京科学大生も来ています。

■ 『うちやまゼカフェ☆こんぱーとう』

異世代交流の場でお年寄りも参加しています。好きなことを話し(相談も可)、また市内で自分のやっている事や、やりたいことなどを話しています。

アンケート取材先一覧

団体名	主な活動場所	連絡先
島田子育て &地域カフェ	島田コミュニティ センター	佐藤 ☎ 63-1519
たまひよ DX	総合福祉センター ふじみ3階	森本 ☎ 080-5112-3142
交流サロンあそびに おいでよ!	新一区集会所	作田 ☎ 090-9134-7827
子育てサロンきらきら	新一区集会所	高橋 ☎ 090-7234-0593
子育てサロン *ぽかぽか*ひろば	コモアしおつ 4丁目集会所	山本 ☎ 63-6623
ごちゃまぜカフェ ☆こんぺいとう	古民家 「こもれび庵」	花園 ☎ 080-1102-3070

『島田子育て&地域カフェ』

参加者・スタッフがさまざまな組み合わせで交流します。地域の人や市の支援を受けて音楽会や体重測定・保健指導等も行っていきます。

『子育てサロン*ぽかぽか*ひろば』

家庭で親子遊び等を通して親子のスキンシップやコミュニケーションを取りやすくできるような環境づくりをしています。

コロナ禍の中で

気軽に遊びに来られないことで、孤立していないか、悩みを誰かに聞いてもらえているか等、不安に感じています。

学校が始まってからは新しい環境に慣れる間もなく、遅れを取り戻すために授業のペースが速くなったり、親子共に大変そうでした。

友達同士で触れ合いながら遊ばせたいと思いつながら、外でもマスク、距離を取って遊ぶように注意するようになり、友達との遊びも気楽に行かせられないなど、今まで以上に気を使うことが多くなってきました。

全ての施設が利用できない状態となり、自宅で過ごすしかなく、子どもたちの行き場がなくなっています。そのため子ども同士の交流が減り、親子ともストレスが溜まっていることが心配です。



行政や議会に望むこと

サークルや居場所づくりの場所(会場)の提供を、市や市民に協力をお願いしたい。
就学前の子どものための発達支援の親子(療育)教室の定期開催。

遊具が充実し広々とした公園がほしい。

スタッフさんたちのご厚意で運営している部分もあります。予算的に厳しいので補助金のアップをしてほしい。

児童館など、0歳〜18歳の子どもたちが安心して集まれる場所を作ってほしい。

学習支援に関わっている人もいるので、予算をつけて事業として行える取り組みにしてほしい。

議員には、地元の子育てセンターや地域で活動している場所に足を運んでいただき、子育ての方から直接話を聞いてほしい。

取材を終えて

コロナ禍でサロンに参加が出来なくなり、子育て中の親子の悩みや不安は今まで以上に大きくなっている事、そしてサロンを運営するスタッフ側も親子を心配している事を感じました。市議会としても今回のご意見や要望を少しでも実現に向けて努力していきます。

取材を終えて

コロナ禍でサロンに参加が出来なくなり、子育て中の親子の悩みや不安は今まで以上に大きくなっている事、そしてサロンを運営するスタッフ側も親子を心配している事を感じました。市議会としても今回のご意見や要望を少しでも実現に向けて努力していきます。

9月定例会

定例会で決まった 主なこと

令和3年第3回定例会が9月1日から24日まで24日間の日程で開催されました。

審議された議案

市長提出議案	31件
請願	2件
発議	3件
計	36件

※議案名・議決結果等は7ページをご覧ください。

条例制定

情報通信基盤事業 今後の在り方について検討

市の情報通信基盤事業のあり方に関する事項について調査審議するため、条例を制定しました。検討委員会（令和3年11月設置予定）では、今後の本市における情報通信環境を見越し、ふさわしい形を検証します。

議案第84号 上野原市情報通信基盤事業検討委員会設置条例制定について



条例改正

上野原市行政改革推進委員会 委員の定数が増えます

行政改革推進委員会は、市長の諮問に応じて上野原市の行政改革の推進に関する重要事項を調査審議するもので、委員定数が10名から15名に変更され、市民から選ばれる委員を増やす予定です。

議案第85号 上野原市行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例制定について

契約締結

消防自動車3台を購入契約締結

消防自動車3台を条件付き一般競争入札により、(有)中村ポンプ工作所(甲府市)と購入契約締結しました。

消防団用小型動力ポンプ付軽積載車 3台
2194万5千円

3台の消防車は、秋山第一分団第2部、巖分団第3部・第5部に配置される予定です。この財源として、辺地対策事業債740万円(80%交付税算入)、緊急防災・減災事業債1490万円(70%交付税算入)の地方債が計上されています。償還時に、国から地方交付税として該当の金額が市に交付される予定です。

契約変更

議案第113号 四方津駅周辺昇降施設棟外建設工事（継続費）請負変更契約締結について

エレベーター棟工事の変更契約

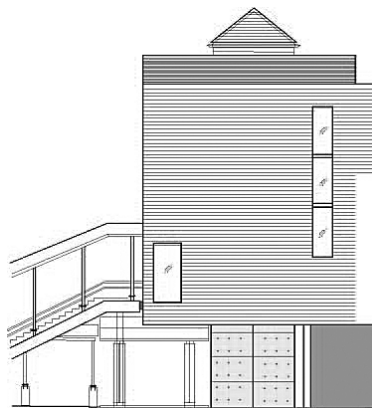
四方津駅周辺のエレベーター棟に階段を付属する設計変更がされ、契約金額が増額されました。

変更後 3億1183万9千円

1483万9千円増額

契約先 東鉄工業株式会社

令和4年7月完工予定



議案第110号 上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員の選任の同意について

人事案件

恩賜林保護財産区管理委員の選任に同意

前任者の辞任により、次の方が選任され、議会として同意しました。

氏名 多賀井 修一氏

請願第2号

加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数の改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

請願

35人学級実施など意見書提出

北都留小中学校PTA連合会ほか3団体から提出された頭書の趣旨の意見書について、すでに国が進めている内容も含まれている為、一部修正・加筆して全会一致で採択されました。

請願第3号

子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願

請願

子どもの歯科矯正に保険適用を

子どもたちの適正な歯科矯正治療を可能にする為、子育て支援の観点からも保険適用の拡充及び周知、保険適用基準のさらなる拡充を関係機関に求めるものです。全会一致で採択されました。

発議第4号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

発議

「地方財源確保を」意見書提出

地方一般財源総額について、「地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること」など、地方財源確保について国に意見書を提出することにしました。

9月3日、予算特別委員会が開かれ、一般会計補正予算（第4号）ほか15件の補正予算が審議されました。全会一致で可決されましたが、産業振興課の地域活性化施設等維持費、商店街等応援事業については、予算執行時まで再度内容を精査し、詳細を議会に報告を求める付帯意見がつけられました。

議案第86号 令和3年度上野原市一般会計補正予算（第4号）

正
算
補
予

約2億5千万円の増額補正

- 電算管理費 1950万円
庁内LANの無線化、職員用タブレット端末の購入及び市公式LINEの導入
- 情報通信基盤事業費 1179万1千円
光ケーブル移設工事費及び情報通信基盤事業検討委員会費用
- 新型コロナウイルス接種体制確保事業 1092万円
移送サービス委託料及び時間外勤務手当
- 商店街等応援事業 5864万2千円
市内商店等のキャッシュレス決済利用促進に係る事業費
- 地域活性化施設等維持管理費 471万1千円
ワイン販売拡充に伴う試飲機・施設改修費
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 560万円
市内介護事業所への感染症予防対策費用の補助
- 新型コロナウイルス感染症対策支援事業 797万4千円
小中学校体育館のトイレの洋式自動洗浄化、自動水栓化修繕

議案第112号 令和3年度上野原市一般会計補正予算（第5号）

国から地方創生臨時交付金が追加されたため、小規模事業者支援の補正予算が追加提案され、全会一致で可決されました。

正
算
補
予

コロナ関連予算約3600万円を追加

- スポーツ施設整備事業費 688万6千円
市営運動施設トイレの洋式自動洗浄化、自動水栓化修繕
- 道路維持費 4465万2千円
台風災害への対応費用及び市道維持管理費
- 市単独道路事業費 5505万円
市道維持管理費（大野犬目線、桜木大柵線）
- 消防署費 164万円
救急隊員用感染防止衣、感染者用フード、除菌装置の購入
- 中小・小規模事業者等支援事業 2420万円
グリーンゾーン認証
取得店舗（新基準適用） 20万円
取得店舗（新基準未適用） 15万円
未取得店舗 10万円
酒類販売店 20万円
- 地域交通対策事業 164万円
市内の交通事業者（バス・タクシー）に対する支援
1社10万円＋所有車両1台につき2万円
- 指定管理施設の休業補償 1069万5千円
ふるさと長寿館・びりゅう館・平野田休養村・マス釣場・秋山温泉・市民プール

令和3年第3回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
101	決算特別	令和2年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	認定

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果	
83	総務産業	デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	可決	
84		上野原市情報通信基盤事業検討委員会設置条例制定について		
85		上野原市行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例制定について		
86	予算特別	令和3年度上野原市一般会計補正予算(第4号)		
87		令和3年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		
88		令和3年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
89		令和3年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第1号)		
90		令和3年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		
91		令和3年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		
92		令和3年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		
93		令和3年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第2号)		
94		令和3年度上野原市甲東財産区特別会計補正予算(第1号)		
95		令和3年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第1号)		
96		令和3年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第1号)		
97		令和3年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算(第1号)		
98		令和3年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)		
99		令和3年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算(第1号)		
100	令和3年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)			
102	決算特別	令和2年度上野原市病院事業会計決算認定について		認定
103		令和2年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について		可決
104		令和2年度山梨県東部広域連合一般会計歳入歳出決算認定について		認定
105	-	令和2年度上野原市継続費精算報告書の報告について		受理
106		令和2年度上野原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について		可決
107	上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について			
108	総務産業	上野原市道路線の認定について		
109		消防団用小型動力ポンプ付軽積載車3台購入契約締結について		
110	-	上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員の選任の同意について		同意
111		上野原市広告式条例及び上野原市役所支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例制定について		可決
112		令和3年度上野原市一般会計補正予算(第5号)		
113		四方津駅周辺昇降施設棟外建設工事(継続費)請負変更契約締結について		
請願2		文教厚生	加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択
請願3	子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願			

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 山口 薫
委員 白鳥純雄
杉本公文
長田喜巳夫
尾形幸召
岡部幸喜
尾形重寅

9月7日委員会を開催し、付託された条例制定3件、市道路線認定1件、契約締結1件の計5件について審査しました。

議案第83号デジタル庁設置法等の法律改正に伴う条例制定については、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、利用法から引用している条号等の改正を行うものです。

議案第84号上野原市情報通信基盤事業検討委員会設置条例制定については、市に情報通信基盤事業検討委員会を設置し、10人以内の委員で市の情報通信事業のあり方について調査審議するものです。

議案第85号上野原市行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例制定については、委員定

数を10人から15人とするものです。

議案第108号上野原市道路線の認定については、市道奥平道上鈴ヶ沢支線として認定するものです。

議案第109号消防団用小型動力ポンプ付軽積載車3台購入契約締結については、7月27日約2195万円で仮契約を結び、本議会で議決後本契約を結ぶものです。以上、当局提出の5案件について採決した結果、

いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。



文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
川島秀夫
山口好昭

9月7日、委員会を開催し、付託された請願2件を審査しました。

請願第2号「加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書」は、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するため、教職員の加配の増員や、義務教育費国庫負担制度における国の負担率を2分の1へ還元することを求めるものです。

委員からは、意見書案の文面について、すでに国が進めている内容も含まれていることから、一部修正・加筆すべきとの意見があり、他の委員の賛同を得たため、それを踏まえた意見書を作成することとしました。

請願第3号「子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願」は、子どもたちの健やかで心豊かな成長のため、また子育て支援の観点からも、子どもたちの適正な歯科矯正治療を可能にするため、保険適用の拡充および周知を関係機関に求めるとともに、保険適用に至らないケースにおいても、さらなる適用基準の拡充を求めるものです。

いずれも全会一致で採択すべきものと決定しました。



持続可能な上野原のため
いま、最善の対策を！



山口 薫

「子育て支援のまち宣言」の
実現に向けて



杉本公文

質問

NTTの光を「市内全域」で早期に使えるようにしない限り、市の発展は望めない。市の取り組みと今後の見通しについて伺います。

答弁

情報通信の地域格差解消のため、先般2600名の陳情書を携え、NTT山梨支社及び県に出向き市長自ら折衝を行いました。NTT本社と国への要望も予定しています。

質問

替えること、及び桂川橋南側の県道の拡幅も県に強く要望して欲しい。

答弁

桂川橋や県道は、防災の面からも、交通安全確保の観点からも重要です。道路狭あい箇所解消等今後とも県に要望していきます。

質問

自主防災会が行う防災活動の支援について、防災士、防災リーダー又は元消防官が支援できるシステムを、地域防災計画に明記すれば効果的と思うが。

答弁

防災の専門的知識や経験を持つ方が、住民をリードしていただければ効果的と考えます。改訂中の地域防災計画に明記する予定です。

質問

市長の公約である子育て支援策は、多くが既に取り組まれているが、園児から小中学校生の給食費の無償化についての状況は。

答弁

市総合教育会議において、市長と教育委員が意見交換した中で、厳しい財政状況の中、全児童・生徒への給食費の無償化を実施することは厳しい状況にあり、中学3年生から段階的に実施していき、その後の対象学年の拡大については、今後の財政状況を踏まえて検討していくという方向性を確認いたしました。

答弁

の池の部分については、市民の憩いの場としても、公園として整備すべきと思うが、市長の考えは。

提案された庁舎の西側の池の場所については、お母さん方など大勢の方から要望等がありますので、極めて前向きに実現したいと考えております。小さな子供たちが安心して遊べるような場所は、それ以外にも場所さえあればたくさん造りたいと思っております。

他に、コロナウイルス対策、情報通信の整備について質問をしました。

意見

ゴミ焼却場火災への支出など財源の問題もありますが、ぜひ早期に実現を望む。

質問

子育てにおいて、子供を安心して遊ばせる公園が必要との要望が多い。公園の新たな整備には、用地の確保などの問題があるが、市の文化ホールの喫茶室の外側

質問

現在の桂川橋は60年経過し橋梁等は限界に近い。この橋を新しく、広い橋に架け

答弁

SDGsの取り組みは、各課検討を開始し、市環境基本計画も目標等を検討し、今年度中の策定に向けて業務を進めています。



県下初のオンライン授業
都市計画道路構想の見直し



八木一雄

質問

まん延防止等重点措置発令下に於ける市内小中7校の県下初のオンライン授業の実施による成果は。

答弁

GIGAスクール構想に基づき教員のパソコンを積極的に活用した授業への取り組みなどの経験から、家庭にいる子供達との双方の対面形式によるオンライン授業を取り入れ実践しました。今回の経験により、今後の感染症の再拡大や自然災害の発生時においても、子供達の学びを止めずに対処できる事が確認できました。

質問

都市計画道路の見直しを含めた「今後の在り方・方向性」は。

答弁

国の見直しの手引きに基づき市内10路線の検証を行い実現可能性の是非を探り実現可能なものは継承し、現実に難しい路線は周辺道路を代替路線として幅員の見直しや拡幅など、県都市計画課との調整を行いながら庁内で方針案を検討し関係機関とも連携し見直し案の取り纏め、変更手続を進めます。

他に、通学路の緊急安全対策、文化財の恒常的展示施設の整備について質問しました。

答弁

昭和28年に計画決定され昭和61年に一部見直しをされて以来ほとんど整備されていない現状で、長期に亘り私権を制限している好ましくない状態と認識しています。



情報通信網について



川島秀夫

質問

NTT光取り組み・新聞折込陳情の内容、全市民への行政放送実施について。

答弁

市内全域光回線を、NTT山梨へ7月に訪問し交渉、県へも陳情してきているところです。陳情は2609件でした。NTT訪問の際に報告してまいりました。情報通信基盤事業における施設等は、老朽化が懸念されており、今後の在り方を検討する必要があります。11月に情報通信基盤事業検討委員会を立ち上げ検討を開始します。

答弁

UBCをどうする、共聴組合は、コモアの問題も。当市における「情報通信基盤事業の在り方」を検討します。これまでの経緯及び現状を整理したうえで今後のネット事業及びTV事業について検討していく予定になっております。共聴組合は、現状ではUB

要望

C加入も選択肢の一つであります。コモアでは同軸ケーブル改修工事は、一時保留と聞いています。UBCの再提案サービスの説明会を実施しているとの事ですが、コモアにとって最適な結論が出ればと思っております。

コモアでは、市の行政放送網を含むTV事業の方向性を待って、同軸ケーブルによる改修可否を判断する。一日も早い市の方向決定断を求めてやみません。

他に、教育委員会への質問を行いました。



地域資源を活かした環境整備
合併浄化槽の全世帯への設置は



長田喜巳夫

質問

平成26年の下水道区域外の合併浄化槽の設置状況は対象世帯5122の内1325世帯で、普及率は25・87%であった。現在の各地区の設置状況は。

答弁

令和3年3月31日現在の対象世帯数は5152で設置は1757世帯、普及率は34・1%で増加しています。大目区は417世帯で143世帯が設置、以下、甲東は384で109、大蔵は406で141、大鶴は385で140、島田は797で234、上野原は1480で463、桐原は407で93、西原は267で38、秋山は609で396世帯が設置しています。

質問

自然環境を良好に保つていくことは、現在取り組んでいる持続可能な開発目標SDGsの11番目の住み続けられるまちづくりに連動



意見

住民負担のない形で、取り組む方針を明確にすべき。他に、魅力的なまちづくり、住民要望事項の取り扱い、人口減少とまちづくりについて質問しました。

答弁

美しい河川、美しい地球を未来に残すことは、我々の責務であり、長期的な視点で検討し合併浄化槽の普及を推進していきます。

長寿社会に向けて住みやすい
まちづくりは



白鳥純雄

質問

生涯スポーツ推進への施設整備について伺う。

答弁

誰もがスポーツを身近に感じ、あらゆるライフステージを通じて日常的にスポーツを楽しむ事ができ、市民の体力維持増進が図られるよう、将来的にスポーツ公園整備の検討を行います。

質問

桂川テニスコートを1日も早く改修すると言った認識で良いのか、村上市長に伺います。

答弁

宜しいです。利用者の安全を第一に、議会での請願採択も踏まえて、早期に改修できるように担当課へ指示しています。

質問

平成29年の都市計画道路見直しなぜ現在まで進まなかったのか、今後の見直し計画を伺う。

答弁

都市計画審議会で議論に入ろうと進めてきたが、見直すためのガイドラインの基準が高く作業がストップし



質問

た。平成30年に都市計画道路見直しの手引きが出たため、来年度から具体的に取組み協議に入ります。主要地方道あきる野線、旧桐原中学校付近は土砂災害警戒区域であり、体育館下の県道が狭隘箇所で危険である、地域の安全・安心なまちづくりに向けての、当局の取組みを伺う。

答弁

地域から強い要望も出され、県道狭隘箇所もあり、土砂災害警戒区域の当該箇所の保全と、県道拡幅が合わせて実現出来るよう、市の体制も含めて協力して取り組めます。

市営住宅の改善を



川田好博

質問 市営住宅の入居の際の連帯保証人について市はどのように対処をされたか。

答弁 小沢東団地に、5世帯の応募がありました。現在空室がないため、入居待ちです。浅間第2団地については、応募世帯なしです。現在の再入居可能な空き室は、何室か。

質問 民法改正に伴い、個人根保証契約の極度額の設定を規定しました。

答弁 浅間第2団地の7室です。半年たつても入居できない状況が続いている。災害時に利用ができる公営住宅の拡充が必要ではないか。

質問 改正民法施行直前に出された国土交通省通知は。

答弁 標準条例(案)を改正し、保証人に関する規定を削除したため、住宅困窮者への公営住宅への入居に支障が生じることのないよう地域の実情等を総合的に勘案して適切な対応をお願いするという内容です。

質問 連帯保証人は設けなくてもいいことになった。連帯保証人の削除を求めるが。

答弁 県営住宅、近隣の市町村の保証人制度の状況、国土交通省の通知の内容を踏まえ、本市の実情に合わせ検討します。

質問 今年2月に行われた市営住宅補欠募集の結果は。

答弁 今年2月に行われた市営住宅補欠募集の結果は、

要望

「借り上げ型緊急仮設住宅」で対応する予定です。現在の状況では、不十分であり、改善を求める。

答弁

「借り上げ型緊急仮設住宅」で対応する予定です。

現在の状況では、不十分であり、改善を求める。



上野原駅南口市営駐車場の利便性向上について再度問う



東山洋昭

質問 改善すべき課題の認識と解決方策は。

答弁 この駐車場は上野原駅の利用者の一時送迎等の待機も含めた駐車場として整備されたものです。年間の維持管理費に194万4千円を支出しています。これに対し、利用料収入は、平成30年度で34万円、令和元年度で20万4千円、令和2年度で11万8千6百円でした。維持管理費を全額駐車場使用料で賄うことは困難な状況です。以前に策定された「上野原駅周辺整備基本構想」や「上野原駅周辺基本計画」に基づき整備がされた施設ではありますが、整備された背景を考慮しつつ、これまでの実績をしっかりと検証し、場合によっては民間企業へ運営を委ねていくことも含めて検討していきたいと考えています。上野原駅南口を利用する市民

意見 大月駅前、藤野駅前駐車場は、現在民間に完全委託しており、市民や利用者への満足度の向上はもとより、経費削減が大きく図られています。正に市民や利用者、市、民間委託業者の誰に対してもウィンウィンの関係が成立しています。市として、今答弁があつたとおり、しっかりと戦略を練って、対応すべきと考えます。

の皆様をはじめ、全ての方々の利便性を考え、運用を行っていきます。

他にコロナウイルス感染症について質問しました。



ふるさと長寿館
指定管理撤退について

質問 ふるさと長寿館からJA
フレイン撤退の経緯は。

答弁 これまで平成4年からの管理委託、平成18年度から指定管理として約30年間フレイン農業協同組合に管理運営をお願いしてきました。

昨年10月、令和2年度末で指定管理期間が終了することに伴い指定管理更新の話し合いを行ったところフレイン農協の経営方針等の変更により指定管理を受けられない旨の申出がありました。その後、協議を重ねた結果、令和3年度末まで1年間に限り延長し指定管理を受けることで現在に至りました。

質問 来年以降、長寿館の運営をどうするか方針と対応は。

答弁 長寿館はフレイン農協の管理運営により地域のにぎわいを創出し地域の皆様が集う拠点施設として住民の心の拠り処となってきました。



山口好昭

令和4年度からの運営方針は地元の皆様方と共に今後の在り方を定めていくことが肝要であると考え今年1月、7月及び9月10日に桐原地区の区長さんと協議、桐原地区の考え方を確認させて頂きました。桐原地区の総意としてはこれまで同様に地域に根ざした管理運営が求められ桐原地区を基盤とする受け皿の組織化等について前向きな提案ご意見がございました。今後、令和4年に向けて頂いたご意見を基に長寿館の管理運営の方法、桐原地区の活性化等について共に考え取り組みたいと思います。



長期化するコロナ禍、今後の対策は
ヤングケアラーの実態調査と支援を

質問 高齢者の2回目のワクチン接種が済み、高齢者の感染者数は減少し、データの上でも一定の効果が現れています。8月に入り若い人の感染者が目立っている。接種はあくまでも任意だが、今後、若い世代への接種勧奨が必要と考えるが。

答弁 今後の予約状況を見ながら、勧奨していくか十分検証したいと思っています。18歳未満の子どもが、病気や障がいのある家族の介護、幼い兄弟の世話等を日常的に担い、そのために自由な時間が取れず遅刻や欠席が度重なり、勉強や進路に影響を及ぼしている子どもたちのことをヤングケアラーと言う。県教育委員会は昨年7月に実態調査を実施し、本日の地方紙に中高生の16人に1人がヤングケアラーの可能性があると発表した。本市において一

質問

答弁

度、実態把握をする必要があるのでは。

答弁

県の調査では、児童・生徒が1人1台のパソコンを使い直接入力したため、市では把握していません。今後は県の報告を踏まえ、関係部署と連携し実態把握をしていきたいと思っています。

意見

早期発見には、子どもたちと接する時間が長く、日々の変化に気づきやすい教職員員の役割は大きい。また、必要な支援につなげるにはノウハウの経験があり専門的な知識を持つスクールソーシャルワーカーの役割も重要です。今後、子どもたちに寄り添った支援を。



遠藤美智子



2年度
決算

私たちの納めた税金の 使い道を審査しました

令和2年度の決算認定について、議長と監査委員を除く13人の議員で決算特別委員会が設置されました。9月9日、10日、13日の延べ3日間にわたり審査を行いました。

各課から担当者の出席を求め、令和2年度の1年間に使われたお金について、無駄なく効率的に使われたかどうか、その成果等について審査を行いました。延べ80件の質疑が行われました。最終日には、5人の委員が総括質疑を行いました。

審査の結果、議案第101号「令和2年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」は、異議があり、起立採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また議案第102号「令和2年度上野原市病院事業会計決算認定について」及び議案第104号「令和2年度山梨県東部広域連合一般会計歳入歳出決算認定について」は全会一致で認定すべきものと決定し、議案第103号「令和2年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について」も全会一致で可決すべきものと決定しました。



山口薫副委員長



白鳥純雄委員長

令和2年度の決算規模

一般会計

歳入	146億5182万1801円	前年度比 31.4%増
歳出	141億639万5940円	前年度比 34.1%増

特別会計(16会計)

歳入	70億4576万6100円	前年度比 1.0%減
歳出	66億3083万2171円	前年度比 0.6%減

決算特別委員会

委員長	白鳥 純雄						
副委員長	山口 薫						
委員	内田 倫弘	八木 一雄	遠藤美智子	川田 好博	東山 洋昭		
	川島 秀夫	杉本 公文	長田喜巳夫	杉本 友栄	尾形 幸召		
	岡部 幸喜						

危機管理室設置から 1 年

- Q 令和 2 年度の事務・事業の成果は。
- A コロナ禍における避難所運営の実務研修を実施、職員 5 人が防災士を取得、避難所の備品を整備（発電機・段ボールベッド等）などの成果がありました。
- 意見 小中高生から防災意識の向上を図ることが必要です。実践的な防災教育の充実を。

防災リーダーの活用

- Q 市職員 5 名が防災士の資格を取得され、危機管理室や自主防災組織の支援をすると説明されたが、それは計画的に行われているものなのか。
- A 市各部へ防災士を配置し、市としての防災力の底上げを図っていきます。又、地域としては地域防災リーダーを計画的に養成して、防災力の強化を図っていきます。

体育館にエアコン設置

- Q 避難所となる小中の体育館にエアコンの設置は。
- A 現在、作成中の国土強靱化地域計画作成のための現状及び脆弱性評価の中で耐震性は確認されていますが、避難所となる体育館のエアコンは未設置となっています。災害時には必要性があると認識しているので、計画の中にどのように位置付けるか検討中です。

質問 と 答弁

決算特別委員会の議論の中から、いくつかの内容について、要約を載せます。



地域防災リーダー養成講習

ハザードマップの修正

- Q 土砂災害ハザードマップはどの程度の修正をされたのか。又、警戒区域内の建築規制はどのようになっているのか。
- A 土砂災害防止法に基づき、警戒区域が 3 箇所追加されたことと、地域の情報を精査し、警戒レベルの変更も含め修正しています。また、富士山の噴火による災害も防災計画の中に加えます。

消防団員の確保

Q 団員の確保の方策は。

A 今年度から団員の出動手当を年間2000円から4000円に増額しました。市内で買い物をしたときに団員が優遇を受ける制度を始めました。高校関係の行事に職員を派遣しています。帝京科学大学で、年間100名ほどに救急救命の講習を行い、防災や消防団に対する関心を高めています。



生活バス路線等の利用実績

Q 生活バス路線の赤字路線数と利用者数とデマンドタクシーの各路線の利用者数は。

A 赤字バス路線は17で市内循環バスも入っています。利用者数は246,115人です。デマンドタクシーは、11,232人が利用しています。



消防職員の大型免許取得

Q 他市では大型免許取得に補助を出しているが上野原市は。

A 市全体で公費を使った免許の取得はしない方針です。消防本部としては職員の親睦会より取得費用を無償で貸与する方法を取っています。また、採用試験時に将来的には自費で大型免許取得の説明をしています。

循環バスの実証運行

Q 循環バスの実証運行の結果は。

A 中心市街地循環バスの実証運行については、コロナ禍にありながらも当初の見込み7,800人から1万300人と多くの利用者となり収支率も高いことから、実証運行後は経費削減を検討する中で本格運行として継続したいと考えています。

健診者数・医療費の減少

- Q 健診者の減少と医療費が減額しているのはなぜか。
- A 春の集団健診が中止となり、受診率は約3割減少したため、医療費で国保が-6%、約1億3千万円の減額となりました。今年度の医療費はほぼ回復傾向にあり、健診の受診者数も回復するよう進めています。



基幹相談支援業務

- Q 当支援センターは、令和2年度に社会福祉協議会の窓口に設置されました。1年間の事業実績は。
- A 相談件数は延べ591件で、サービスの利用の仕方103件・健康や医療に関すること104件・不安や勧奨等の相談が95件で、相談方法は電話119件・来所60件・訪問41件です。相談件数は前年度より増加傾向です。



不登校の児童・生徒

- Q 不登校の児童・生徒の対策は。
- A 不登校の児童・生徒のために学校カウンセラーを配置し、教育支援室で勤務してもらっています。教育委員会のステップ教室に通級している児童・生徒は7名ですが、全体では23名です。

生活困窮者自立支援事業

- Q 生活困窮者自立支援事業では、どのような支援をしているか。
- A 50名から相談を受けました。去年はコロナ禍の中で貸付を希望される方が多く見られました。その他就労を望んでいる方には、ハローワークに付き添い、就労ができるように援助しました。生活保護に結びつく事例は昨年度ありませんでした。

空家バンク対策

- Q 地域に出向き、移住促進へ積極的な取り組みをしては。また、空き家バンクへの取り組みも強化する必要があるのでは。
- A コロナ禍で地域の集まりが無いが、以前よりコーディネーターがお願いはしている。固定資産通知書の中に制度のお知らせを入れ、空き家の所有者にはアンケート調査を送り制度利用を促している。

総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 山口 薫
委員 白鳥純雄
杉本公文
長田喜巳夫
尾形幸召
岡部幸喜
尾形重寅

8月6日、閉会中の調査と
して、「島田駐在所前交差点付
近の改良状況」と「市道新井
黒田線の崩落箇所状況」に
ついて視察を行いました。

島田駐在所前交差点につい
ては、東側市民プール方面が
市道、西側駅方面が県道です。
市道部分の工事は、県道と一
体的に進めるため工期が1年
延期されるということです。市
道拡幅については、旧駐在所
解体は県が行い、ゲートボー
ル場は南側に移動、水防会館
は立て替えるとのことでした。
委員から県道と市道の幅員は
同じかという質問については、
県道の幅の方が広く、市道幅
員は車道6.5m、歩道2mと
のことです。

市道新井黒田線については、
令和元年の台風19号により崩

落した2箇所市道法面補修
工事現場を視察しました。
1箇所目は、国庫補助金
と災害復旧事業債、総額約
6千万円を活用し工事は概ね
完了していました。

2箇所目は、社会資本整備
総合交付金事業補助金、総額
約9千万円を活用し工事中で
した。この一帯は狭あい箇所
が多く今後改善を検討されたいとの意見が出されました。

島田駐在所前交差点につい
ては、県と連携し事業が円滑
に進むよう努めること、また、
市道黒田線の崩落箇所につい
ては、迅速に
補修を進める
ことを要望し
ました。



文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 杉本友栄
委員 八木一雄
遠藤美智子
川田好博
川島秀夫
山口好昭

閉会中の継続調査として、
7月14日「GIGAスクール
構想の進捗状況について」と
「上野原中学校体育館の改修状
況について」調査を行いました。
まず、上野原中学校の令和
2年度に行われた体育館の改
修状況について視察を行いま
した。国庫補助が一部対象外
になり、起債をして財源を確
保したと報告を受けました。

改修内容は、屋根に塩化ビ
ニルシートで防水し、外壁と
内壁、天井を塗装し、LED
照明へ変更したとの事です。
学校から、雨漏りする渡り
廊下の修繕の要望があり、委
員より早急に対応するよう意
見が出ました。
次に、島田小学校の1、3、
4年生のパソコンを活用した

授業を見学し、続いて説明を
受けました。授業にICTを
上手く取入れており、しっか
りとした基本理念を持ち、自
ら学ぶ児童を育成したいとい
う目的を伺う事が出来ました。
担当課には、小中学校の改
修計画を立て、急を要する案
件には迅速に対応する事、G
IGAスクール構想は、取り
残される生徒がいらないよう、
学校側と連携してより良い学
びに繋げるよう要望しました。



議会活性化特別委員会

委員長 川島秀夫
副委員長 東山洋昭
長田喜巳夫
他委員 11名

議会活性化特別委員会を8月23日開催しました。

今回は次の5項目に絞り込み議論を交わしました。

- 1 「議員定数及び報酬」
- 2 「議会基本条例の制定」
- 3 「タブレット端末の導入」
- 4 「意見交換会・報告会開催」
- 5 「会議のインターネット配信」

1、「議員定数及び報酬」は、先に議員間アンケートを実施。定数は現状維持と削減に意見が二つに分かれていました。さらに議論を詰める必要があります。報酬については、同アンケートで引き上げ要望が、多数を占めていました。次世代議員候補のためにも、県下最低報酬を引き上げるべきだとの意見で一致しました。

2、「議会基本条例」は、5名の小委員会を設け、具体的制定作業に取り進むことになりました。

3、「タブレット端末」は、市当局の導入状況を見ます。

4、「意見交換会」は、「コロナ禍実施は見送ります。5、「会議のインターネット配信」は、長期的計画が必要であり引き続き検討を続けます。

報酬について、市長宛、「議員報酬審議会の開催」要望書を提出しました。その折に市長から、報酬の検討はするが、人口減少下でもあり議員定数の検討をしてほしい旨要望がありました。

その他、「市民の声」アンケートを実施する事に決まりました。

【お詫び】

議会だより前号で、東山洋昭議員の一般質問の記事は3月議会のもものが掲載されました。お詫びし、6月議会のもものを下欄に載せます。

市長の公約について

質問 PCR検査を全員に行います、今の思いは。

答弁 これは選挙が始まる前で、このコロナの問題に関して一番必要なものであったことは間違いのないと思っております。PCR検査はできる限り、必要だと思う方には全員ができるようにしたい。しかし、ステージがもう既に変わり、ワクチン接種が一番の市民の関心の中心になったということだと思います。

質問 3月の定例会でも話をしましたが、PCR検査で陽性反応が出たときに、その方たちはどうなりますか。

答弁 現在、山梨県内におきましては、検査で陽性となった場合は、原則として入院または宿泊療養施設に入っていたいただいています。自宅療養はありません。

質問 ここでワクチン接種が市民の不安解消のため、期待さ

れているわけです。現在65歳以上の高齢者は1回目、2回目の接種が行われています。(7月末日完了予定) 罹りにくい、重篤化しにくいとの安心感を持ってもらう。接種が今の日本でできる、唯一無二の方策だと思っております。政府でも判断をしています。

意見 それを聞いて安心しました。副市長にはしっかりとサポートお願いします。

答弁 あります。

希望する方全員に、また64歳以下の方にも一日でも早く1回目、2回目打てることを段取っていくべきという思いはありますか。



東山洋昭

地域とのつながりの大切さ

市 民

の 声



上野原高校生徒会長
相馬知枝さん

上野原高校では、JRC部や吹奏楽部など普段から上野原市と交流をしている部活動やインターンシップ等を通して関わりを持たせていただいています。それ以外にも私たち上高生は地域清掃等で地域との繋がりを強く意識してきました。ありがたいことに活動の度にうれしいお言葉を頂き、励みになっています。しかし現在は新型コロナウイルスの影響で大きなイベントや校外活動の機会が減り、とても残念に思います。私たちは地域の人々と関わりを持つことで、自分の役割を意識し、今の自分たちにできることが何かを考えて学んできたのだと思います。

いずれは育てていただいた地域の方々に恩返しができるように、また後輩達に地域と繋がる機会をできるだけ多く作れるような大人になれるように、自分磨きを継続していきたいと思ひます。

12 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
		本会議 (初日)	議案調査	議案調査	委員会 予算特別	
		傍聴可				
5	6	7	8	9	10	11
	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	議案調査	議案調査	本会議 一般質問	
					傍聴可	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	本会議 (最終日)			
	傍聴可	傍聴可	傍聴可			

議会傍聴のときは、感染防止のため、マスク着用、手指消毒をお願いしています。

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

長引く自粛生活で外出の機会が閉ざされた中、中秋の名月が8年ぶりに満月となった当夜、ススキにお団子などお供えをして家族でお月見。平凡な生活の一コマであっても清々しい気持ちになりました。2年越しのコロナ感染症もここにきて人流は減らずともウイルスの自壊の為か、全国的に感染者が急減となり、この現象に専門家のみならず私も驚きを以ってニュースに接しています。一部自治体に発令されている緊急事態やまん延防止も9月30日で全面解除となりましたが、まだまだ油断は禁物です。これからも一人一人が予防の基本「うがい・手洗い・マスクの着用・3密回避」の徹底と実行で平穏な生活を早く取り戻したいと思ひます。(八木)

議会だよりのQRコードです



議会だより編集常任委員会

- 委員長 川田 好博
- 副委員長 山口 薫
- 委員 内田 倫弘
- 委員 八木 一雄
- 委員 白鳥 純雄
- 委員 遠藤美智子

